

再評価調書

事業名	原(1)地区急傾斜地崩壊対策事業			
所在地	高槻市大字原			
再評価理由	事業採択後10年を経過した時点で継続中			
目的	がけ崩れによる災害から府民の生命を保護するため、がけ崩れの恐れのある急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策施設を整備する。 当地区では、人家56戸、市道250mと保全対象も多く、がけ崩れの災害から住民の生命を保護する。			
内容	急傾斜地崩壊対策 斜面高 37m、勾配 30度 擁壁工 L = 920m			
事業費	全体事業費：5億円(約5億円) うち投資済事業費：約3.65億円 (内訳)用地費約-億円(約-億円) (内訳)用地費約-億円 工事費約5億円(約5億円) 工事費約3.65億円			
	【計画時点の事業費との変動理由】			
維持管理費	-			
上位計画	大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版(平成17年3月策定)			
関連事業				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析 【完成予定の変更理由】
		事業採択年度：H10 事業着手年度：H10 完成予定年度：H20	事業採択年度：H10 事業着手年度：H10 完成予定年度：H20	
	進捗状況		(平成18年度末) 用地： - % 工事： 73 %	
	途中段階の整備効果発現状況	工事概成ごとに部分効果を発揮する。		
	事業進捗に関する課題			

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		箇所概要 斜面状況 〔高さ37m、勾配30度〕 保全対象 〔人家56戸、市道250m〕	箇所概要 同左	
地元等の協力体制		地元より要望書が出されており、事業に協力的である。	同左	変化なし。

		計画時の想定	備考	現時点での状況(変更点)	分析
		事業効果の定量的分析	費用便益分析	・計画時は、費用対効果の算定手法が定まっておらず算定していない。	
	その他の指標(代替指標)				
事業効果の定性的分析	安全・安心	急傾斜地崩壊防止施設を整備し、急傾斜地崩壊危険箇所の安全性を向上させる。	・急傾斜地崩壊危険箇所の被害想定区域内住民が受益者。	変更なし	既往災害での実績から、本箇所においても、対策工の完成により土砂災害を未然に防止し、家屋等の安全性確保が見込まれる。
	活力				
	快適性				
	その他				
	自然環境等への影響と対策	・待ち受け擁壁工において、樹木の伐採がともなうが、その範囲を最小限に止め、自然環境への影響を極力軽減する。		変更なし	
	その他特記すべき事項	急傾斜地崩壊防止工事によるハード対策に加え、ハザードマップの作成や、砂防フェアの開催等のソフト対策による住民の安全・安心の充実を図っている。			